

令和6年11月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	議席 番号	氏名	議員	1 / 1
発言項目		要 旨		答弁者
1	耳が聞こえにくい高齢者や難聴者に対する市役所及び公共施設の窓口業務について（軟骨伝導イヤホンの導入について）	<p>耳が聞こえにくい高齢者や難聴者が円滑なコミュニケーションを取るために、耳の軟骨を振動させて音を伝える仕組みの「軟骨伝導イヤホン」があり、県内自治体では伊豆の国市、裾野市が市の窓口を設置している。市民との接点が多い市民課や保健福祉部各課などはもちろんであるが、庁内の窓口、公共施設の窓口を設置し、難聴でも困らない環境整備を進めていく必要があると考え、以下伺う。</p> <p>(1) 市役所及び公共施設の窓口では、耳が聞こえにくい高齢者や難聴者に対してどのような対応をしているか伺う。</p> <p>(2) 職員が、耳が聞こえにくい高齢者や難聴者の対応をした時に困ったことはあるのか。また市民からのクレーム、要望等はあったのか伺う。</p> <p>(3) 難聴でも困らない環境整備を行い、円滑にコミュニケーションを取れるようにするため、市役所及び公共施設の窓口「軟骨伝導イヤホン」を導入することはできるか伺う。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長
2	市民の防災教育（自助）及び自主防災組織の地域防災力（共助）の向上について（防災リーダー養成講座の開催）	<p>11月2日（土）に洪水警報が発令され、市内でも被害が多くあった。被害に遭われた方々にお見舞い申し上げる。私のところにも市民から相談の電話があり、話を聞く中で、平時の備えがいかに大切かを改めて感じ、防災知識の必要性を感じた。そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 市のホームページに記載してある防災についての出前講座の中に「我が家の防災対策」の講座があるが、詳しい内容を伺う。</p> <p>(2) 年間平均、何件の講座申込みがあるのか、また申込みの多い内容（1、2、3位）及び参加人数を伺う。</p> <p>(3) 市内の防災士の人数（静岡県ふじのくに防災士、日本防災士機構の防災士）を伺う。</p> <p>(4) 近年、想定外の自然災害が全国各地で起こっている。南海トラフ巨大地震もいつ起きてもおかしくない状況であり、自分の命を守るための「自助力」、地域近隣の人たちと助け合う「共助力」、自主防災組織の向上がますます必要と考える。今後、市で防災リーダー養成講座を開催し、受講した人を地域の防災サポーターとして、区長や防災委員とともに、防災訓練の企画や地域の人への啓発活動を行うことで、「誰一人、取り残さない、被害者ゼロの防災、減災」を行うことができると考えるがいかがか伺う。</p>		市長 副市長 教育長 関係部長